

## 豆状骨単独骨折の1例

お 生    ごし 越    えい 英    じ 二

キーワード：pisiform bone, isolated fracture, carpal bone

### 要 旨

アイスパーンのコンクリート道路ですべり転倒，手をつき受傷した豆状骨単独骨折の症例を経験した。豆状骨単独骨折は稀な骨折であり，早期に診断，治療を行えば予後の良い骨折であるが診断が困難とされ，初診時に見逃されることも少なくないので注意を要する。早期の正確な診断，治療を行うことが重要である。

### はじめに

豆状骨骨折は手関節背屈位での受傷のために橈骨遠位端骨折特にコーレス骨折を合併することがあるが豆状骨単独骨折は手根骨骨折のなかでは比較的稀な骨折である。今回豆状骨単独骨折の症例を経験したので若干の文献的考察を加え報告する。

### 症 例

症例：49才女性

主訴：右手関節部痛

既往歴：特記すべきことなし

現病歴：アイスパーンのコンクリート道路ですべり転倒，手をつき受傷，疼痛が軽減しないので翌日当院を受診した。

初診時所見：右手小指球部～右手関節掌尺側部に

かけて疼痛，腫脹があり圧痛を認めた。右手関節の可動域は橈屈40° 尺屈20° と制限されていた。

尺骨神経領域の知覚異常は認めない。

初診時X線所見：近位から遠位にかけて斜走する線状の骨折線を認める。(図1)

経過：右手関節中間位で前腕～手掌までのギブス固定を行なった。受傷後1ヶ月後X線所見(図2)にて骨癒合傾向を認め，圧痛もなくギブスを除去し，リハビリテーションを開始した。受傷後2ヶ月後X線所見(図3)，受傷後3ヶ月後のX線所見(図4)では骨癒合は良好で豆状三角骨間関節に変形性関節症は認めない。疼痛は消失し，ADLに支障はない。

### 考 察

豆状骨単独骨折の発生頻度は比較的少なく，手根骨骨折のうち0.1～3%といわれている<sup>1,2)</sup>。

豆状骨骨折は手関節背屈位での受傷のために橈骨遠位端骨折特にコーレス骨折を合併することが

Eiji OGOSHI

医療法人慶生会 生越整形外科クリニック

連絡先：〒694-0064 大田市大田町大田イ263-8

医療法人慶生会 生越整形外科クリニック